



SDI

スタンダード&プロシージャーマニュアル

パート**4**：リーダーシップスタンダード

Scuba Diving International®

tdisdi.com

目次

1.	コースの概要一覧	1
2.	リーダーシップコーススタンダード	2
2.1	事務手続き	2
2.2	事故 / 事件	3
2.3	定義.....	3
2.4	器材.....	3
2.5	限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング.....	3
2.6	オープンウォータートレーニング.....	4
2.7	講習生必須器材.....	5
2.8	すべてのダイブリーダーに必要な器材.....	5
2.9	テンポラリーCカード	6
3.	ダイブマスター	7
3.1	イントロダクション	7
3.2	修了者に与えられる資格.....	7
3.3	指導できるインストラクター	7
3.4	講習生とインストラクターの人数比.....	7
3.5	講習生参加前条件	7
3.6	コース構成と時間	8
3.7	事務手続き	8
3.8	トレーニング教材	9
3.9	必須器材	9
3.10	学科アウトライン	9
3.11	スキル達成条件と修了条件	11
4.	アシスタントインストラクター.....	14
4.1	イントロダクション	14

SDIスタンダード&プロシージャ
パート4：リーダーシップスタンダード

4.2	修了者に与えられる資格.....	14
4.3	指導できるインストラクター.....	14
4.4	講習生とインストラクターの人数比.....	14
4.5	講習生参加前条件.....	15
4.6	コース構成と時間.....	15
4.7	事務手続き.....	16
4.8	トレーニング教材.....	16
4.9	必須器材.....	17
4.10	学科アウトライン.....	17
4.11	スキル達成条件と修了条件.....	18
5.	SDIダイブエクスペリエンス・リーダー・プログラム.....	19
5.1	イントロダクション.....	19
5.2	卒業生の資格.....	19
5.3	教えることができる人.....	19
5.4	講習生参加前条件.....	19
5.5	コース構成と時間.....	20
5.6	事務手続き.....	20
5.7	必要機材.....	20
5.8	学科アウトライン.....	21
5.9	スキル達成条件と修了条件.....	22
6.	ノンダイビングスペシャルティインストラクター.....	23
6.1	イントロダクション.....	23
6.2	修了者に与えられる資格.....	23
6.3	指導できるインストラクター.....	23
6.4	講習生とインストラクターの人数比.....	23
6.5	講習生参加前条件.....	24
6.6	コース構成と時間.....	24
6.7	事務手続き.....	24

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

6.8	トレーニング教材	25
6.9	必須器材	25
6.10	学科アウトライン	25
6.11	スキル達成条件と修了条件	26
7.	目視検査手順(VIP)インストラクター	27
7.1	イントロダクション	27
7.2	修了者に与えられる資格	27
7.3	指導できるインストラクター	27
7.4	講習生とインストラクターの人数比	27
7.5	講習生参加前条件	27
7.6	コース構成と時間	28
7.7	事務手続き	28
7.8	必須器材	29
7.9	トレーニング教材	29
7.10	学科アウトライン	29
7.11	スキル達成条件と修了条件	30
8.	IDC(インストラクターデベロップメントコース)とIEC(インストラクターエバ リュエーションコース)	31
8.1	イントロダクション	31
8.2	修了者に与えられる資格	31
8.3	指導できるインストラクター	31
8.4	講習生とインストラクターの人数比	31
8.5	講習生参加前条件	32
8.6	コース構成と時間	32
8.7	事務手続き	33
8.8	トレーニング教材	33
8.9	必須器材	33
8.10	学科アウトライン	34

SDIスタンダード&プロシージャ
パート4：リーダーシップスタンダード

8.11	スキル達成条件と修了条件	35
9.	エリート・スクーバ・インストラクター	37
9.1	イントロダクション	37
9.2	指導できるインストラクター	37
9.3	修了条件	37
10.	コースディレクターコース	38
10.1	イントロダクション	38
10.2	修了者に与えられる資格	38
10.3	指導できるインストラクター	38
10.4	講習生とインストラクターの人数比	39
10.5	講習生参加前条件	39
10.6	コース構成と時間	39
10.7	事務手続き	40
10.8	トレーニング教材	40
10.9	必須器材	41
10.10	学科アウトライン	42
10.11	スキル達成条件と修了条件	42
11.	SDIインストラクタートレーナー	45
11.1	イントロダクション	45
11.2	修了者に与えられる資格	45
11.3	指導できるインストラクター	45
11.4	講習生とインストラクターの人数比	45
11.5	講習生参加前条件	45
11.6	コース構成と時間	46
11.7	事務手続き	46
11.8	トレーニング教材	47
11.9	学科アウトライン	47

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

11.10	スキル達成条件と修了条件	48
11.11	すべてのインストラクター・トレーナーのためのポリシー	48
12.	コースディレクターとインストラクター・トレーナーのクロスオーバー	49
12.1	イントロダクション	49
12.2	修了者に与えられる資格	49
12.3	指導できるインストラクター	50
12.4	講習生とインストラクターの人数比	50
12.5	講習生参加前条件	50
12.6	コース構成と時間	51
12.7	事務手続き	51
12.8	トレーニング教材	52
12.9	学科アウトライン	53
12.10	スキル達成条件と修了条件	54
13.	International Training®クロスオーバーコース	56
13.1	イントロダクション	56
13.2	修了者に与えられる資格	56
13.3	指導できるインストラクター	56
13.4	講習生とインストラクターの人数比	56
13.5	講習生参加前条件	57
13.6	コース構成と時間	57
13.7	事務手続き	57
13.8	必須器材	58
13.9	学科アウトライン	58
13.10	スキル達成条件と修了条件	60

改訂履歴

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

改訂 ナンバー	日付	変更
2.0	05/27/2001	このマニュアルは、完全に再構成され、最新の変更と追加を反映して更新されました。
2.1	09/04/2002	CPR1stとITを追加
2.2	10/10/2002	最新のトレーニングアップデートに更新
3.0	08/15/2003	最新のトレーニングアップデートに更新
3.1	12/19/2003	編集とマイナーアップデート
5.0	11/19/2004	主なアップデート
6.0	10/07/2005	過去数年間のトレーニングアップデートを更新
7.0	10/27/2006	編集の変更と2006年トレーニングの更新。
8.0	11/13/2007	2007年トレーニングのアップデート
9.0	12/01/2008	ITスタッフ・インストラクター（コース・ディレクター）の新規格 マイナーアップデートと明確化
10.0	12/31/2009	2009年のトレーニングアップデートに更新マイナー編集
11.0	01/01/2011	大幅な編集、並び替え、ITスタッフおよびITクロスオーバーの新基準。
12.0	01/01/2012	マイナー編集
12.1	06/01/2012	一般基準のセクションに定義を追加。 アシスタント・インストラクター・レベル・リーダーシップ・コース基準のコース概要マトリックスを変更 2.1 DM登録には、認定に必要なダイビング/時間の証明を添付する必要があるとの情報を追加。 DM 3.5.5 卒業ダイブ/時間に関する注記を追加。 DM 3.11 オープンウォーター#1 要ダイブ/時間。 DM 3.11 オープンウォーター #5 SMB の使用。 DM 3.11 必要な能力 ささまざまな環境でDMとして活動する。 AI 4.2.6 削除。 AI 4.5.4は、前提条件となる必要なダイビング/時間を定義した。
13.0	01/01/2013	変更されたインストラクター・トレーナーの前提条件。
14.0	01/01/2014	#2.8 サイドマウントシリンダーの使用に関する注釈を追加。
14.1	04/01/2014	12.10 インストラクター・トレーナーの水泳要件を明確にした。 12.11 ITレベルの要件にScubilityを追加。

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

15.0	01/01/2015	変更なし
15.1	04/01/2015	3.5 アドバンスド・オープン・ウォーター・ダイバーからアドバンスド・アドベンチャー・ダイバーに変更。
15.2	08/01/2015	変更なし
15.3	11/01/2015	2ページ目：アメリカ本部の情報を更新
16.0	01/01/2016	変更なし
16.1	04/01/2016	変更なし
16.2	10/01/2016	3.8.4 必須教材にSDIダイブマスターズレートを追加。
17.0	01/01/2017	変更なし
18.0	01/01/2018	第4部リーダーシップ・スタンダードのITスタッフ・インストラクターをコース・ディレクターに変更。 2.1 基準と手続きのデジタル版を参照するために更新された。 2.3 参加前条件の定義を追加 3.2 ISO/EUF認証の改訂 6.8 必要な材料を追加した。 6.9 必要な設備を更新した。 7.8 必要な材料を追加した。 7.9 必要な設備を更新した。
19.0	01/01/2019	CPROX、CPR1st、CPROX1st AED の参照と基準を削除し、CPR、応急手当、酸素供給者の認定要件を明確にした。 その後のスタンダードの番号を変更しました。 以下のセクション番号は2018年のスタンダードのセクション番号に対応していることに注意してください。 2.2 参考文献を追加。 3.8 新しいオプション教材3を追加。SDIダイブマスターコースのチェックリスト。 4.8 新しいオプション教材3を追加。SDIアシスタント・インストラクター・コースのチェックリスト。 9.2 3年更新を追加。 9.3 非ダイビングプロフェッショナルに対する要求事項の明確化。 10.2 コンピューター・ダイバー・スペシャリティ、インアクティブ・ダイバー/リフレッシュ・コースを追加し、AIを教えることを明確にした。 10.8 候補生およびCD / ITが必要とするトレーニング教材を明確化。 オプションのIDC / IECコース追跡シートを追加しました。 10.10 新しいトピック 3.a.、4.c.、6.d.、6.f.、6.g.を追加した。 11.5.1 最低年齢を20歳に変更。 11.11.3 時間を「約12分」に変更。

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

		12.5.1 最低年齢を20歳に変更。 12.10 項目 1 と 3 を削除し、それ以降の項目の番号を変更。書式を更新。
0120	01/01/2020	1.5 「最低年齢」を18歳に変更。 2.1.2 医師の診断書の正式表記を定義 2.8.10 「ナイフ」を「カuttingデバイス」に変更、レスキューシグナルを新規アイテムとする。 5.1 項目2が削除された。 5.5 最低年齢条件を更新。 6.6 セクション番号を訂正した。 コース・ディレクター、インストラクター・トレーナー、コース・ディレクター/インストラクター・トレーナーのクロスオーバー/アップグレード基準を大幅に更新。
0620	06/01/2020	10.1 セクションを明確にした。 10.5& 10.7 リストに新アイテムが追加された。 10.6 コース時間, 1.項目は拡大された。 10.11 実質的な情報追加
0121	01/01/2021	1.7行目の前提条件認定を修正。 3.8.1, 4.8, 7.8 指導者レベルのコースにおけるeラーニングの使用を明確にする。 3.11, 4.2.3, 5.8.2 項目を明確にした。 9.5 項目 3 を削除した。現在の表現は、コースの前提条件が不正確に反映されている。
0221	02/01/2021	国際研修クロスオーバーコース基準を追加しました。
0122	01/01/2022	3.8, 4.8、候補者が必要な資料をすべて所持していることの要件を明確にし、セクションを再編成。 3.11、4.11、7.11 中立浮力状態で技能を実証する要件を追加。 5.7 項目 4.b が削除され、「成功裏に終了した場合」の項目 1 が編集された。 5.8 候補者が必要な資料をすべて所持していることの要件を明確にした6.10 項目 3 を差し替えた。 7.8 受験者が必要な教材をすべて所持していることの要件を明確にし、項目 2 を「インストラクターマニュアルまたは e ラーニング」に変更。 8.3.1.a 交換された項目 8.3.1.c 5を10に変更。 8.5、8.8、9.5 項目を追加、以降の項目はすべて番号を変更。 8.7.1.d "完了時..."の下3 (3)」を「5 (5)」に訂正。 11.5 項目1を拡大。 11.6 水中執行の項目 1 を拡大。 11.7 項目3が入れ替わった。 11.9 文法の修正
0122a	01/01/2022	変更なし
0122b	01/01/2022	変更なし
0522	05/20/2022	変更なし

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

0123	08/25/2022	<p>2.1 会員規約に関する情報を追加しました。</p> <p>4.5、3.5、5.5、7.5 コースにおける応急手当、CPR、酸素の認定要件を変更し、適切なファーストレスポンスコースを参照するようにした。</p> <p>4.6 アシスタント・インストラクター候補者に対し、アシスタント・コースを受講したことを証明する書類を提出することを追加した。</p> <p>10.11 文言を現在の慣行に更新した。</p>
0723	07/17/2023	<p>1.5 新たにダイブエクスペリエンスリーダーを追加し、以降のセクションの番号を変更した。</p> <p>5.ダイブエクスペリエンス・リーダー規格追加</p>
08/23	08/09/2023	5.資格と受講条件を更新
0124	01/01/2024	<p>1.エリート・インストラクターをマトリックスに追加し、以降の項目の番号を変更</p> <p>2.5.1 透視度の明確化</p> <p>3.11 閉鎖された水域 - シュノーケリング技能の名称をウォーターマンシップ技能に変更。</p> <p>3.11 オープンウォーター-緊急時行動計画とサイトマップの要件を追加</p> <p>4.2 アドバンスド・ダイバー追加</p> <p>4.3 現職のSDIコースディレクターに教えることができる。</p> <p>4.6.1 プレゼンテーション数の増加と必須テーマの追加</p> <p>4.6.2 4つ後に異なるものを追加</p> <p>6.11.1、6.11.2 合格発表回数の増加</p> <p>6.7, 7.7完了セクションにインストラクターの後にトレーナーを追加</p> <p>8.11 プレゼンテーション合格要件の明確化とプレゼンテーション回数の増加</p> <p>新しい項目9を追加。エリート・インストラクターおよび後続規格の番号変更</p> <p>10.9, 11.9 初動対応およびPFIインストラクター・トレーニングをトピックに追加</p>

1. コースの概要一覧

	コース名	最低年齢	数 必須ダイブ	学生から インストラクター	前提条件 認証または 必要条件	Cカード が発行しなければ
3	ダイブマスター	18	40	8	アドバンス・アドベンチャー レスキュー、CPR、ファーストエ イド(応急処置) ログ付けされた40ダイブ 深い、夜 & 視界不良& ナビゲーション・スペシャリティ	Yes
4	アシスタントインストラクター	18	コース を見る 記述	8	ダイブマスター、CPR、ファース ト エイド、60ダイブ または50ログダイブ 水中25時間	Yes
5	ダイブ・エクスペリエンス・リーダー	18	コース を見る 記述	該当 なし	現役SDIダイブマスターまたはアシ スタントインストラクター	Yes
6	ノンダイビングスペシャルティインス トラクター	18	該当な し	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
7	目視検査手順(VIP)インストラクター	21	コース を見る 記述	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
8	インストラクターデベロップメントコ ース (IDC)	18	コース を見る 記述	8		Yes
9	エリート・インストラクター	18	該当な し	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
10	コースディレクター	21	該当な し	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
11	インストラクタートレーナー	21	該当な し	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
12	コースディレクターとインストラクタ ートレーナーのクロスオーバー	21	該当な し	該当 なし	コースを選択 説明	Yes
13	インターナショナルトレーニング クロスオーバー	18	該当な し	該当 なし	オープンウォーター 公認機関からの指導員格付け	Yes

2. リーダーシップコーススタンダード

このスタンダードは、全てのSDIリーダーシップコースに適用される。

2.1 事務手続き

インストラクターおよびインストラクター・トレーナーは、受講生が参加する指導者養成コースおよび指導者専門分野ごとに、すべての受講生に以下の書式を記入させなければなりません。

1. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
2. SDIメディカル・リリース・フォーム

SDIリーダーシップコースでは、コース開始前に、ダイビングを許可する医師の署名入りの問診票を提出する必要があります。指導者認定の書類を提出する際には、医療承認が最新のものでなければなりません。医師が署名したメディカル・フォームは、特定のメディカル・フォームにそれ以上の有効期間が記載されていない限り、病状に変化がない限り最長12ヶ月間有効である。

適切なSDIダイブリーダー登録用紙に、希望する指導者レベルの最終試験*と医師の署名入りの診断書を添えて、SDI本部に提出し、指導者資格の手続きを行ってください。新会員は、署名した会員同意書に指導者レベル登録書類を添えて提出しなければならない。

ダイブマスター登録には、卒業に必要な最低ダイブ数/時間の証明書も添付しなければならない。アップグレードとクロスオーバーを含むリーダーシップレベルの登録は、SDI/TDI/ERDIアメリカ本部が候補生の書類と資格を確認し、処理するまで完了しない。SDI/TDI/ERDIアメリカ本部から認定レベルの承認を受けるまで、該当するレベルの活動を行うことはできない。確認は、オンラインプロフィール、電子メール、またはSDI/TDI/ERDI本部からの口頭による通知で行うことができます。

SDIダイブリーダーフォームのコピーは、最低7年間保存しなければなりません。

*注：すべてのリーダーシップ・レベルの最終試験は、80%以上の得点、および100%の補習が必要です。

- 全てのSDIインストラクターは自分のインストラクターマニュアルSDIスタンダード&プロシージャーを所持しなければならない。
- オンラインコースでは、試験解答用紙をSDI事務局に提出する必要がなく、候補生が署名したページだけを提出してください。
- ダイブマスター→アシスタントインストラクター→インストラクター、またはその組み合わせなど、SDIリーダーシップレベルのコースが連続して実施される場合、インストラクターまたはインストラクター・トレーナーは、各レベルのトレーニングの登録フォームが提出され、次の段階のトレーニングが開始される前に承認を受けていることを確認しなければなりません。このように連続してコースを実施する場合には、各トレーニングが終わって次の手順が開始される前に本部に登録書類を提出し、承認を受けなければいけません。

2.2 事故／事件

会員が事故に巻き込まれた場合、または単に事故を目撃した場合、SDI事故報告書に記入し、事故発生直後にSDI本部にファックスまたは電子メールで送信する必要があります。SDI基準を参照してください、
第1部6.4.8項。

2.3 定義

アシスタントまたはアシストされる者＝

主任の公認インストラクター、コース・ディレクター、インストラクター・トレーナーをアシストする者。アシスタントは、追加の監督活動やスタンダードと環境が許容する範囲内でインストラクターと講習生の人数比を増やすために採用される。登録時にリストされたアシスタントは、アシストしたコースの経験クレジットが認められる。

Co-Teach or 2nd Instructor (コ・ティーチまたはセカンド・インストラクター) ＝

コースを教える資格を持ち、同じく資格を持つインストラクター、コース・ディレクター、インストラクター・トレーナーと共に働く人。登録時にリストされたセカンドインストラクターは、同等のクレジットが認められる。

講習生参加前条件＝コースを開始する前に講習生が満たさなければならない条件。スタンダード内で特に記載されていない限り、これらの条件をコース中に満たすことはできない。ここにリストされている条件を、インストラクターの判断で免除することはできない。参加前条件の書面によるスタンダードの免除は、コース、ダイブサイト、およびコース参加者の特定の過去の経験に応じて、アメリカ本部トレーニング部門によって発行される場合がある。

2.4 器材

SDIコースの限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング及びオープンウォータートレーニング中、講習生はパーソナルダイブコンピュータ(PDC)を使用しなければならない。

2.5 限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング

限定水域トレーニングは、プールや、以下の条件を満たす限定水域で実施すること：

1. 最低約3メートル/10フィートの水平視界。
2. 水面が穏やか
3. 講習生が水面から頭を出して立つことができる水深までアクセスが容易
4. 限定水域セクションに記載されている全てのスキルを実施するのに適した水深

5. トレーニングサイトに適した器材がある
6. プール以外の場所で限定水域トレーニングを実施する場合は、必ずSDIアメリカ本部の事前承認を得なければならない

2.6 オープンウォータートレーニング

インストラクターは、以下の点を考慮し、オープンウォータートレーニングサイトを選択すること：

1. 海、湖など、その地域のダイビング条件に似た水域。
2. スイミングプールをオープンウォータートレーニング環境として使う事はできない
3. 透視度
4. 気温と水温
5. 気象状況
6. 水域までのアクセス
7. コンディションに適した器材がある
8. コンディションに適した熱保護。
9. いかなるダイビングも減圧停止を必要としない
10. 頭上環境でのダイビングは行わない。
11. ブリーフィングに含まれるべき内容：
 - a. ダイブサイト
 - b. 海況/水況
 - c. 実施するスキル
 - d. エントリー/エキジット方法
 - e. 緊急時の手順
12. デブリーフィングに含まれるべき内容：
 - a. ダイバー全体としてのパフォーマンス
 - b. 改善が必要な事項
 - c. 環境観察
 - d. 質疑応答

2.7 講習生必須器材

講習生は下記の器材を携行し使用しなければならない：

1. マスク、フィン、シュノーケル。
2. BCD(パワーインフレーターが取り付けられたもの)
3. SPG(残圧計)付きレギュレーター
4. 代替空気源。
5. ウェイトシステム
6. パーソナル・ダイブ・コンピューター (PDC) 。
7. トレーニング条件に適した露出スーツ。
8. 圧縮ガスシリンダー
9. 水中コンパス(ナビゲーションで使用)
10. ナイフまたはカuttingデバイス
11. レスキューシグナル

注：エア一体型ホースレスコンピュータを着用している学生は不要
水中圧力計を携帯すること。

2.8 すべてのダイブリーダーに必要な器材

特に断りのない限り、インストラクター、アシスタントインストラクター、ダイブマスターのトレーニングに最低限必要な器材は以下の通りです：

1. マスク、フィン、スノーケル
2. BCD(パワーインフレーターが取り付けられたもの)
3. SPG(残圧計)付きレギュレーター
4. 代替空気源。
5. ウェイトシステム
6. パーソナルダイブコンピュータ(PDC)
7. トレーニング環境に適した保護スーツ
8. 圧縮ガスシリンダー
9. コンパス
10. カuttingデバイス

11. レスキューシグナル

12. オープンウォーター環境では、ダイブフラッグを現地の法律や規則に従って携帯すること

注： エアーインテグレーション機能付きダイブコンピュータを使用しているインストラクターは、残圧計を使用しなくてもよい。

注： SDIスタンダードで使用されるシリンダー容量は、製造業者の値または一般化された変換に基づいており、シリンダーの体積と使用圧力の違いによるメートル法からヤードポンド法への正確な変換ではない。メートルシリンダーを使用する場合は、記載されているメートルサイズのシリンダーを使用してください。同様に、インペリアルシリンダーを使用する場合は、記載されているインペリアルサイズのシリンダーを使用してください。

注： 以下のコースでは、指導者も生徒もシングルシリンダーのバックマウントを装着しなければならない：
オープンウォータースクーバダイバーインストラクター

2.9 テンポラリーCカード

リーダーシップコースのためのテンポラリーCカードはありません。

3. ダイブマスター

3.1 イントロダクション

このプログラムは、認定ダイバーをオープンウォーター環境で指導するために必要なスキルと知識を身につけることを目的としています。

3.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. 承認されたダイビングコースの間、SDIインストラクターのアシスタントをすること。
2. 認定ダイバーのためのダイビングや、訓練を受けた特殊なスキューバダイビング活動を監督し、実施する。
3. ダイビング環境と活動に適した緊急手順を計画し、実行する。

3.3 指導できるインストラクター

現役のSDIインストラクター。

3.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

限定水域(コンファインドウォーター、プールに似た環境)：

1. インストラクター1名に対し講習生最大8名。

オープンウォーター(海、湖、採石場跡、泉、川、河口など)：

1. インストラクター1名に対し講習生最大8名。ただし、状況に応じてインストラクターの裁量で最大定員を減らすことができる。

3.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢18歳

2. SDI認定アドバンスド・アドベンチャー・ダイバー、またはそれに相当するもの。アドバンスド認定には、ディープ、ナビゲーション、ナイト、視界の限られたスペシャリティにおける検証可能な経験が含まれていなければならない。
3. SDI認定レスキュー・ダイバー、または同等の資格を有すること。
4. 現在有効なFisrt Response大人と子供のエマージェンシーケア認定と酸素管理プロバイダー認定(現地の法律で許可されている場合)、または同等の認定を取得していることを証明する書類を提出すること*
5. 少なくとも40本のダイビングを記録した証明を提出すること（卒業に必要なダイビング本数/時間については3.11を参照）。

*注：ファーストレスポンスコースは、有資格のインストラクターによってSDIダイブマスターコースと組み合わせることができます。

3.6 コース構成と時間

オープンウォータートレーニング：

学生は、次のことをしなければならない：

1. 最低5回のブリーフ/ディブブリーフを行う。
1. ダイビング管理とダイビング活動の準備、計画、管理を示す。
2. さまざまな場所や環境条件で、最低4本のダイビングをガイドする。

コース構成：

1. SDIでは、講習生の参加人数やスキルレベルに応じて、インストラクターがコースを構成することができる

コース時間：

1. 最低40時間。最低30時間はSDIインストラクターの直接指導を受けること。

3.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書

b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDIメディカル・ステートメント・フォーム。

コース修了後、インストラクターは次の項目を実施すること：

1. SDIダイバーリーダー登録用紙をSDI本部に提出するか、SDIウェブサイトのメンバーエリアからオンラインで生徒を登録することにより、適切なSDI認定証を発行する。

3.8 トレーニング教材

各候補者は、トレーニング中およびトレーニング後に使用する必要な資料一式を持たなければならない。

候補者

1. SDIダイブマスターマニュアルまたはeラーニング。
2. SDIダイブマスタースレート。

インストラクター名：

1. SDIダイブマスターインストラクターガイド。
2. SDIの基準と手順（オンライン）。

オプション教材 - インストラクター：

1. SDI ダイブマスター インストラクターリソースCD
2. SDI ダイブマスター パワーポイントプレゼンテーション
3. SDIダイブマスターコースのチェックリスト。

3.9 必須器材

本マニュアルのセクション3に記載されたオープンウォータースクーバ器材

3.10 学科アウトライン

インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。下記のトピックをカバーしなければならない：

1. SDIの基準と手順。
2. SDIの歴史。
3. SDIダイブマスターの倫理規定とプロフェッショナリズム。
4. 製品と手続き：
 - a. ご注文方法

- b. メンバーリニューアル
5. 責任と保険：
- a. リスク管理。
 - b. 権利放棄と免責。
 - c. 事故報告書の記入
6. 知識開発：
- a. 器材
 - b. ダイビングの物理学と生理学。
 - c. ダイビングに関する医学的問題。
 - d. ダイブコンピューターとテーブルの使用。
 - e. ダイビング環境。
 - f. ダイブ・プランニングとダイブ・マネジメント・コントロール：
 - i. プール／閉鎖水域。
 - ii. オープンウォーター
 - g. 問題解決：
 - i. プール／閉鎖水域。
 - ii. オープンウォーター
 - h. 水中通信と水上通信。
 - i. ダイバー・アシスト
 - j. エア切れや緊急事態を避ける。
 - k. 安全なダイビングのための推奨事項
 - l. ボートダイビングの手順
 - m. ショア/ビーチダイビングの手順
 - n. ナイトダイビングの手順
 - o. 事故管理。
 - p. 緊急時の対応
 - i. ファーストエイド(応急手当)
 - ii. 酸素 (O₂) 投与。
 - iii. 心肺蘇生法 (CPR)。

7. リーダーシップ開発：
 - a. グループダイブを計画する。
 - b. ダイブマスターがリストとログをチェック。

3.11 スキル達成条件と修了条件

封じ込められた水の要件：

1. ウォーターマンシップのスキル
 - a. マスク、シュノーケル、フィンを使い、腕を使わずにノンストップで800メートルを17分以内に泳ぐ。
 - b. 400メートルを水面上で泳ぎ、補助具を使用せず、あらゆるストロークをノンストップで10分以内に行う。
2. スキューバスキル - 最小限の器材：SDIダイブリーダーに必要なすべての器材：
 - a. 水中で、疲労したダイバーを模擬し、早足で4分間搬送する。
 - b. 完全なレスキューシナリオを満足いくまで実演する。
 - c. マスクの有無にかかわらず、水中スキルを行う。
3. スノーケルを使い、スキューバ装備で水面を100メートル泳ぐ。
4. 意識不明を装ったダイバーを水深6メートル以上から浮上させ、水面で100メートルを4分以内に泳がせる。
5. 限定水域(コンファインドウォーター)スキル：
 - a. 準備と計画。
 - b. ブリーフィングとデブリーフィング
 - c. グループコントロール。
 - d. 問題の認識と解決。
 - e. ダイビング器材の組み立てと分解。
 - f. 設備点検。
 - g. 出入り口
 - h. 適切な加重と浮力コントロール。
 - i. スノーケルとレギュレーターはクリア。
 - j. レギュレーターリカバリー
 - k. コントロールされた下りと上り。

- l. 水中遊泳。
- m. マスククリア
- n. バディ・システムのテクニク
- o. ウェイトシステムの取り外しと交換。
- p. 緊急時の代替手段。
- q. 機器のケアとメンテナンス

オープンウォーターの条件：

1. 潜水時間20分以上の海洋ダイビング10回実施。卒業するためには、合計60ダイブまたは50ダイブのログと25時間の水中時間の記録が必要です。ログ中、30回は、さまざまなダイビング環境を経験しなければならない。
2. トレーニング・ダイブは40メートル／130フィートを超えてはならない。
3. オープンウォーターにおいて、SDIインストラクターに対し、以下のトピックから少なくとも3つのオープンウォーターダイビングの準備、計画、グループコントロール、問題解決についてデモンストラーションを行う。
4. 候補生は、リーダーシップレベルの器材で、ダイブマスター品質でこれまでのコースに必要なすべてのスキルをデモンストラーションする必要があります。スキルは以下の通り：
 - a. 準備と計画。
 - b. ブリーフィングとデブリーフィング
 - c. グループコントロール。
 - d. ダイビング器材の組み立てと分解。
 - e. 設備点検。
 - f. 出入り口
 - g. 適切な加重と浮力コントロール。
 - h. スノーケルとレギュレーターはクリア。
 - i. レギュレーターリカバリー
 - j. コントロールされた下りと上り。
 - k. 水中遊泳。
 - l. マスククリア
 - m. バディ・システムのテクニク
 - n. ウェイト／バラストシステムの取り外しと交換。

- o. スキューバ・システムの取り外しと交換。
 - p. 問題の認識と解決。
 - q. 緊急時の代替手段。
 - r. 機器のケアとメンテナンス
 - s. 自然航法とコンパスによる航行技術の評価。
5. 学生は、DMクオリティで、遅延または恒久的な表面マーカーブイ（SMB）の使用を練習し、実証しなければならない。
 6. 生徒は、ダイビングサイトの緊急行動計画を作成しなければならない。
 7. 生徒は、出入り口と主な特徴を示したサイトマップを作成するか、描かなければならない。
 8. ダイビングが終了したら、生徒はログブックに記入し、インストラクターがサインをしなければならない。

インストラクターは、以下のすべての技能と候補者の能力を評価することが求められる：

1. SDIダイブマスター筆記試験、またはオンライン試験を80%以上の得点と100%以上の補習で満足に修了すること。
2. すべての給水条件を満たすこと。
3. 中性浮力の状態で、オープンウォーター・スクーバダイバーコースのすべてのスキルをデモンストレーションする。
4. SDIインストラクターに対して、水中および水外でダイバーが直面する問題を解決する能力を証明する。
5. 潜水計画とその実行に関し、慎重かつ的確な判断力があることを示す
6. ダイブマスターとして、様々な環境でダイビングを行う。

4. アシスタントインストラクター

4.1 イントロダクション

このコースは、現役のSDIインストラクターによる実践的な指導経験を積むことを目的としています。

4.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. SDIシュノーケリングコースを指導し、認定する。
2. SDIインアクティブダイバー/リフレッシュコースを実施する。
3. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースで、SDI現役インストラクターの間接的な監督のもと、知識クエストレビューを実施する。
4. 承認されたダイビングコースにおいて、SDIインストラクターのアシスタントをすること。
5. 認定ダイバーのためのダイビングを監督し、実施する。
6. 専門分野の指導者訓練を受けた後、認定された専門分野を指導する。
7. SDIアドバンスダイバーの認定を行う。

4.3 指導できるインストラクター

現役のSDIコースディレクター。

4.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

限定水域(コンファインドウォーター、プールに似た環境)：

1. インストラクター1名に対し講習生最大8名。

オープンウォーター(海、湖、採石場跡、泉、川、河口など)：

1. インストラクター1名に対し講習生最大8名。ただし、状況に応じてインストラクターの裁量で最大定員を減らすことができる。

4.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢18歳
2. SDI認定ダイブマスターまたは同等の資格
3. 現在有効なFisrt
Response大人と子供のエマージェンシーケア認定と酸素管理プロバイダー認定(現地の法律で許可されている場合)、または同等の認定を取得していることを証明する書類を提出すること*
4. 少なくとも60回のログダイブ、または50回のログダイブと25時間の水中累積時間の証明を提出すること。
5. 本マニュアルの「指導者養成コースの基準」第2章に定義されているように、最低限の指導用具を所持していること。

*注：資格のあるインストラクターは、ファーストレスポンスコースをSDIアシスタントインストラクターコースと組み合わせることができる。

4.6 コース構成と時間

講習生は、次の手順でインストラクターをアシスタントしなければならない。また、講習生は、全ての学科講習、限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング、オープンウォーター(海洋)実習に参加しなければならない：

1. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースを1回修了した者、または同等の者：
 - a. 3つの限定された学術プレゼンテーション（少なくとも物理学と生理学のプレゼンテーションを1つずつ含む
 - b. 限定水域(コンファインドウォーター)プレゼンテーションの一部を1回
 - c. オープンウォータープレゼンテーションの一部を1回
2. 4種類のSDI専門コース、または同等のコース。
3. SDIレスキューコースまたは同等のコースを1回受講すること。

コース構成：

1. SDIでは、講習生の参加人数やスキルレベルに応じて、インストラクターがコースを構成することができる

コース時間：

1. 最低70時間。
2. インストラクターの判断により、SDIダイブマスタープログラムから30時間以内の単位を取得することができます。

*注：AIコースを実施するインストラクターは、候補者を認定する際、他の必要書類とともにアシスタントコースの書類を提出しなければならない。

4.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
 - b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDIメディカル・ステートメント・フォーム。

コース修了後、インストラクターは次の項目を実施すること：

1. SDIダイバーリーダー登録用紙をSDI本部に提出するか、SDIウェブサイトのメンバーエリアからオンラインで生徒を登録することにより、適切なSDI認定証を発行する。

4.8 トレーニング教材

各候補者は、トレーニング中およびトレーニング後に使用する必要な資料一式を持たなければならない。

候補者

1. SDIアシスタントインストラクター マニュアル またはeラーニング
2. SDIスタンダード&プロシージャ (オンライン)

インストラクター名：

1. SDIアシスタントインストラクターガイド

オプション教材 - インストラクター：

1. SDI アシスタントインストラクター リソースCD
2. SDI アシスタントインストラクター パワーポイントプレゼンテーション
3. SDI アシスタントインストラクターコースチェックリスト

4.9 必須器材

本マニュアルのセクション3に記載されたオープンウォータースクーバ器材

4.10 学科アウトライン

インストラクターは、以下のすべてのトピックをカバーする必要がある：

4. SDIの基準と手順。
5. SDIの歴史。
6. 製品と手続き：
 - a. ご注文方法
 - b. メンバーリニューアル
 - c. SDIアシスタント・インストラクター認定に必要なSDIの要件。
 - d. SDIアシスタントインストラクターの倫理規定とプロとしての責任。
7. 責任と保険：
 - a. リスク管理。
 - b. 権利放棄と免責。
 - c. 事故報告書の記入
8. コースプランニング：
 - a. ダイビング管理およびダイビング活動における準備、計画、管理。
 - b. プール/限定水域とオープンウォーターの手順。
 - c. オープンウォーターダイブのトレーニング補助の実務経験。
 - d. プール/限定水域とオープンウォーターでの問題解決。
 - e. シュノーケリングコースの実施方法
 - f. インアクティブダイバー/リフレッシュコースの実施方法。
9. 緊急時の手順：
 - a. ファーストエイド(応急手当)
 - b. 酸素 (O₂) 投与。
 - c. 心肺蘇生法 (CPR)。

4.11 スキル達成条件と修了条件

講習生は、以下のスキルを正しく実行できなければならない：

講習生は自分がアシストする全課程でインストラクターの直接監督の下、各コースの講習で1セッションずつプレゼンテーションしなければならない。インストラクターは以下のすべてのスキルを評価することが求められる：

1. 候補生の次のような能力：
 - a. すべての必須コースをアシストする。
 - b. 潜水計画とその実行に関し、慎重かつ的確な判断力があることを示す
2. 400メートルを水面上で泳ぎ、補助具を使用せず、あらゆるストロークをノンストップで10分以内に行う。
3. マスク、シュノーケル、フィンを使い、腕を使わずにノンストップで800メートルを17分以内に泳ぐ。
4. ログ付けされた60ダイブの証明を提出すること。
5. 意識不明を装ったダイバーを水深6メートル以上から浮上させ、水面で100メートルを4分以内に泳がせる。
6. オープンウォーター・スクーバ・ダイバー・コースのすべてのスキルを、中性浮力の状態でインストラクター・クオリティーまでデモンストレーションする。
7. SDIアシスタントインストラクター試験（またはオンライン版）を80%以上の得点で修了し、100%の補習を受ける。

5. SDIダイブエクスペリエンス・リーダー・プログラム

5.1 イントロダクション

このプログラムは、SDIアシスタントインストラクターとダイブマスターが、限られたコンディションでスクーバディスカバリープログラムを教えるためのものです。

5.2 卒業生の資格

このコースを修了すると

1. アシスタント・インストラクターは、プールまたは承認された限定水域でスクーバ・ディスカバリー・プログラムを独自に実施することができます。
2. ダイブマスターは、プールでのみスクーバディスカバリープログラムを独自に実施することができます。

5.3 教えることができる人

SDIオープンウォーターインストラクター

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

コンファインド・ウォーター（このプログラムではプールのみ使用可）

1. インストラクター1名につき2名まで

オープンウォーター（海、湖、採石場、泉、川、河口）

該当なし

5.4 講習生参加前条件

1. 18歳以上
2. SDIアシスタントインストラクターまたはダイブマスター
3. 独自にプログラムを実施する前に、必要な場合には、教育活動をカバーする専門職業賠償責任保険に加入すること。

5.5 コース構成と時間

水中実習；このコースはプールでのみ実施することができる。プール以外の閉鎖水域は、このプログラムでは承認されない。

1. すべてのコースアシスタントは、シミュレーションではなく、実際のコースで実際の学生を相手にしなければならない。

コース構成：

1. SDIでは、講習生の参加人数やスキルレベルに応じて、インストラクターがコースを構成することができる

コース時間

1. 推奨される最低トレーニング時間数は6時間である。

5.6 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全学生から受講料を徴収する。
2. 講習生が必須器材を保有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI責任免除および明示的危険負担フォーム
 - b. SDI Medical Statement Form (医師の署名入り)

コース修了後、インストラクターは次の項目を実施すること：

1. SDI本部にSDI Specialtyアップグレードフォームを提出し、適切なSDI認定を発行する。登録には、受講日、受講者名を含む補助コースのリストが必要です。

5.7 必要機材

リーダーシップ・コース基準、最低限必要な器材に規定されている基本的なオープンウォーター器材、およびスクーバ・ディスカバリー・コース基準に規定されている必要な器材。

5.8 学科アウトライン

インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。下記のトピックをコース中にカバーしなければならない：

1. スキューバディスカバリー必修科目

5.9 スキル達成条件と修了条件

候補者は、SDIインストラクターの直接指導のもと、以下の項目を修了する必要がある：

1. スクーバ・ディスカバリー・プログラムを最低3回実施する。

コースでの行動には以下が含まなければならない：

1. 管理業務の見直し
2. 生徒用具の準備
3. 学生の評価
4. ブリーフィング
5. 生徒の水中監督
6. 問題管理
7. プログラム基準に従い、必要な水中スキルをすべて修了すること。
8. デブリーフィング
9. 学生用備品の故障

このコースの修了条件：

1. コースの計画と実行に関して、成熟した健全な判断力を発揮する。

6. ノンダイビングスペシャルティインストラクター

6.1 イントロダクション

SDIノンダイビングスペシャルティインストラクターコースは、ショップのオーナーやサービステクニシャンなどスクーバダイビング業界のメンバーに、下記のノンダイビングスペシャルティのインストラクターとして単独で安全に活動するために必要な知識を指導することを目的としている。

1. 視認検査手順(VIP)コース
2. その他のダイビング以外の専門分野、すなわちSDIが提供する独自の専門分野（本部の承認が必要）。
3. SDIシュノーケリング。

上記のコースのインストラクターになるには、資格を有するインストラクター・トレーナーまたはコース・ディレクターの認定を受ける必要があります。

ノンダイビングスペシャルティインストラクターとしてクロスオーバーを希望する他の教育機関で同等の資格を持っているインストラクターは、現行のインストラクタークロスオーバー手順で申請することでクロスオーバーできる。

6.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. 適切なSDIノンダイビングスペシャルティを教える。

注：ただし、対応するすべての前提条件と卒業要件を満たし、コースを実施するインストラクター・トレーナーまたはコース・ディレクターがすべてのレベルにおいて適格であることを条件とする。

6.3 指導できるインストラクター

候補生が修了後に指導することになるスペシャルティのインストラクターレベルを指導する資格を有するアクティブステータスのSDIインストラクタートレーナーまたはSDIコースディレクター

6.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

コンファインド・ウォーター（プールのような状態）-シュノーケリングのみ：

1. 16:1.

オープンウォーター（海、湖、採石場、泉、川、河口）-シュノーケリングのみ：

1. 10:1.

6.5 講習生参加前条件

1. 専門規格に別段の定めがない限り、18歳以上。
2. SDI施設と提携している。
3. 卒業後、指導する専門分野の医療提供者レベルで1年以上の経験。
4. アシスタント・インストラクターまたはインストラクターの要件を除き、卒業後に担当するインストラクター・レベルの専門分野に関するすべての前提条件を満たすこと。
5. 現在有効なFisrt Response大人と子供のエマージェンシーケア認定と酸素管理プロバイダー認定(現地の法律で許可されている場合)、または同等の認定を取得していることを証明する書類を提出すること*

*注：ファースト・レスポンス・コースは、資格のあるインストラクターによって、ノンダイビング・スペシャルティ・インストラクター・コースと組み合わせることができる。

6.6 コース構成と時間

コース時間：

1. コース全体で最低20時間、15時間は現職のインストラクター・トレーナーまたはコース・ディレクターの直接指導の下で行わなければならない。

6.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書

コース修了後、インストラクター・トレーナーは以下のことが求められます：

1. SDIダイバーtrリーダー登録フォームをSDI本部に提出するか、SDIウェブサイトのメンバーエリアからオンラインで生徒を登録することにより、適切なSDI認定証を発行する。

6.8 トレーニング教材

各候補者は、トレーニング中およびトレーニング後に使用する必要な資料一式を持たなければならない。

必須教材：

1. SDI標準および手順マニュアル。
2. SDIインストラクタートレーナーマニュアル CDまたはITの実施用。
3. SDIインストラクター・マニュアル
4. 卒業後に指導する専門分野について、現行の基準で義務付けられている教材。

6.9 必須器材

本マニュアルのセクション3に記載されたオープンウォータースクーバ器材

6.10 学科アウトライン

インストラクターは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。

下記のトピックをカバーしなければならない：

1. SDIの基準と手順。
2. SDIの歴史。
3. 製品と手続き：
 - a. ご注文方法
 - b. 登録手続き。
 - c. メンバーリニューアル
 - d. 賠償責任と保険。
4. リスク管理：
 - a. 権利放棄と免責。
 - b. 事故／インシデント報告書の記入。
5. 指導方法：
 - a. 教授理論、教授法、口頭コミュニケーション
6. レッソンの準備：

- a. 教室で
 - b. 限定水域でのシュノーケリングのみ。
 - c. オープンウォーター；シュノーケリングのみ。
 - d. トレーニング補助具の使用。
 - e. 自宅学習プログラム、ナレッジ・クエストの活用。
7. コースの販売を成功させる
 - a. 予算管理コース。
 - b. 学生を募集している。
 - c. コースの編成とスケジューリング
 - d. 小売販売。
 8. インストラクターの倫理
 9. 候補者が卒業後に教えることになる専門科目の全講義内容。

6.11 スキル達成条件と修了条件

このコースを修了するためには、以下のすべてに合格する必要がある：

1. 卒業後に指導することになるSDI専門科目のテーマについて、最低4回、15分以上のアカデミック・プレゼンテーションを行う。
2. 卒業後に指導するSDI専門科目のテーマについて、15分以上のプレゼンテーションを2回以上行い、合格する。
3. 指導するSDI専門科目のスキルパフォーマンスおよび卒業要件をすべて満たすこと。
4. 生徒と一緒に試験問題を正しく補習する能力を実証する。
5. インストラクター試験のSDI Standards and Proceduresの部分を十分に修了すること。
6. クラスの計画と実行に関して、成熟した健全な判断力を発揮する。

コースの単位：

SDIノンダイビングスペシャルティインストラクターコースの修了者は、再度コース全体を受けることなく、他のノンダイビングスペシャルティインストラクターへアップグレードすることができる。ただし、追加スペシャルティの参加前条件、スキル達成条件と修了条件を全て満たす必要があり、アクティブステータス且つ資格のあるインストラクタートレーナーまたはコースディレクターが評価する。

7. 目視検査手順(VIP)インストラクター

7.1 イントロダクション

このコースは、SDI目視検査手順を指導できるようになるよう構成されている。このコースは、検査官インストラクター候補生に、スチール、アルミニウム、複合材シリンダーの検査を含む適切な検査技術を教えるものである。バルブのリビルド、コンプレッサーの洗浄、基本的な安全取扱手順。インストラクター候補生には、通常のダイバーに求められるよりも多くの知識を持つよう強調しなければならない。

7.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. 高圧シリンダーの目視検査、バルブのリビルド、シリンダーと部品の洗浄、コンプレッサーの理解、高圧シリンダーとその部品の検査に関する規則と規制の一部を他の人に教える。認定は3年間有効。ランクを更新するには、リフレッシャー/アップデートを完了する必要があります。

7.3 指導できるインストラクター

1. 現役のSDI VIPインストラクター・トレーナーであれば、誰でもこのコースを教えることができる。
2. SDIの書面による許可を得ており、高圧ポンペに関する豊富な知識を有する非ダイビング専門家。例えば、ハイドロテスター、消防士、高圧ガス産業関係者などが挙げられる。このような個人は、このコースとともにノンダイビングスペシャルティインストラクターコースを完了する必要があります。

7.4 講習生とインストラクターの人数比

1. 1つのデモンストレーションセットアップにつき最大3名のインストラクター候補者。
2. SDIインストラクタートレーナー1名につき25名まで。

7.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢21歳
2. SDIアシスタント・インストラクターまたはノンダイビング・スペシャルティ・インストラクターの最低資格：

- a. SDIの書面による許可を得た非ダイビング専門家。
3. 高圧エア・コンプレッサーと充填ステーションを持つ組織と提携。
4. 50本以上の高圧シリンダーの検査経験書面による目視検査書類の提出
5. 最低6ヶ月の視覚検査員。

7.6 コース構成と時間

生徒は以下のことができなければならない：

1. SDIプログラムを使用して、シリンダー故障の原因となる欠陥がないか高圧シリンダーを目視検査する方法を指導する。

コース構成：

1. SDIでは、講習生の参加人数やスキルレベルに応じて、インストラクターがコースを構成することができる
2. 教室での講義と実演。
3. コース期間中、各自シリンダーを所持すること。

コース時間：

1. 推奨される最低トレーニング時間数は6時間である。

7.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. *SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書*

コース修了後、インストラクター・トレーナーは以下のことが求められます：

1. SDIダイバーリーダー登録用紙をSDI本部に提出するか、SDIウェブサイトのメンバーエリアからオンラインで生徒を登録することにより、適切なSDI認定証を発行する。

7.8 必須器材

以下の器具は、目視検査手順を実施する際に検査グループごとに最低限必要なものである。インストラクター・トレーナーは必要な用具を提供することができる。

1. スチール、アルミニウム、または複合シリンダー。
2. 倍率が2倍で、シリンダーネックに入るほど小さな直径を持つ直角ミラー。
3. 検査対象のミラーとスレッドを照らすのに十分な大きさで強度を持つ検査用ライト。
4. 検査対象のシリンダー内面を照らすライトワンドまたはその他の光源。
5. 直角および直角のピックとピット・リファレンス・ゲージにより、シリンダー壁に認められた孔食の深さを推定する。

7.9 トレーニング教材

必須教材：

1. SDI目視検査手順書 生徒用マニュアル
2. SDIビジュアル・インスペクター・インストラクター・マニュアル

オプション教材：

1. SDI目視検査手順PowerPointプレゼンテーション。

インストラクター・トレーナーは、これらのトピックのプレゼンテーションに役立つと思われる追加のテキストまたは教材を使用できる。

7.10 学科アウトライン

下記のトピックをカバーしなければならない：

1. 目的
2. 規則と規定
3. ボンベの安全な取り扱い。
4. 充填所オペレーターの規則と推奨事項：
 - a. 様々なシリンダーマークの識別。
 - b. 充填手順。
 - c. EOIステッカーの使用とEOIステッカーの解釈。
5. 道具とその使い方。

6. 目視検査による表示：
 - a. 様々な欠陥の状態を正しく特定すること。
7. シリンダーの不合格と非難の基準。
8. その他のサービス
 - a. バルブの点検と清掃。
 - b. シリンダー洗浄の基本。
9. 検査用紙を使用した目視検査手順：
 - a. 検査工程をステップ・バイ・ステップでウォークスルー。

7.11 スキル達成条件と修了条件

受講生は、講師から提示されたさまざまな欠陥状態を、欠陥状態が判明している実際のシリンダーを使って識別する能力を示すことが求められる。このコースを修了するために、受講生は以下を行う必要がある：

1. 3本のシリンダーを点検し、少なくとも1本に欠陥がある。
2. SDI目視検査プロバイダの筆記試験を十分に修了すること。
3. 目視検査手順に関するトピックについて、少なくとも1回の採点付きプレゼンテーションを行い、合格点を獲得する。
4. シリンダーを拒否または非難するような条件を特定する能力を示す。

8. IDC(インストラクターデベロップメントコース)とIEC(インストラクターエバリュエーションコース)

8.1 イントロダクション

SDIインストラクターコースは、現職のダイブマスターやアシスタントインストラクターに、オープンウォータースクーバインストラクターとして安全に機能するための知識を教えることを目的としています。このプログラムは、インストラクター養成コース（IDC）とインストラクター評価コース（IEC）の2つのセクションに分かれています。

8.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. SDIオープンウォータースクーバダイバー、インアクティブダイバー/リフレッシュャーコース、アドバンスドアドベンチャーダイバースペシャルティ、コンピューターダイバースペシャルティ、レスキューダイバー、ダイブマスターコースを指導。

8.3 指導できるインストラクター

このコースを教えることができる者

1. 現役のSDIコースディレクターまたはインストラクタートレーナーがIDCを教えることができる。
2. 別の現役のインストラクター・トレーナーがIECを実施しなければならない。
3. つまり、アクティブステータスSDIインストラクタートレーナー2名で、またはアクティブステータスSDIコースディレクター1名とアクティブステータスSDIインストラクタートレーナー1名で、IDCとIECの両方を一緒に教えることができます。

8.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

限定水域(コンファインドウォーター、プールに似た環境)：

1. コースディレクターまたはインストラクター・トレーナー1名につき最大8名まで。

オープンウォーター(海、湖、採石場跡、泉、川、河口など)：

1. コースディレクターまたはインストラクタートレーナー1名に対し講習生は最大8名。ただし、状況に応じてコースディレクターまたはインストラクタートレーナーの裁量で最大定員を減らすことができる。

8.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢18歳
2. 最低6ヶ月の認定ダイバー。
3. 水深の異なるさまざまな環境で100回のダイビングを記録した証明を提出すること。
4. SDI ダイブマスターまたは SDI アシスタントインストラクターまた同等ランクの認定
5. 現在有効なFisrt
Response大人と子供のエマージェンシーケア認定と酸素管理プロバイダー認定(現地の法律で許可されている場合)、または同等の認定を取得していることを証明する書類を提出すること*

*注：ファーストレスポンスコースは、資格を持ったコースディレクターまたはインストラクタートレーナーにより、IDCプログラムと組み合わせることができます。

8.6 コース構成と時間

IDCの実行：

1. 以下のコースの必須スキルを全て、インストラクターレベルクオリティでできなければならない
 - a. ダイブマスター
 - b. アシスタント・インストラクター。

インストラクター候補生は、IDC修了後6ヶ月以内にIECに出席しなければならない。

IECの実行：

1. コース修了前に、SDIダイブリーダートレーニングレコードを評価するインストラクタートレーナーに提出すること。

コース時間：

1. SDI IDCの直接監督下での最低勤務時間は40時間です。
2. SDI IECの最低直接指導時間数は10時間です。
3. 最少時間は100時間。インストラクタートレーナーやコースディレクターの裁量によりダイブマスターコースまたはアシスタントインストラクターコースの40時間を含めることができる。なお、50時間のトレーニングはアクティブステータスのインストラクタートレーナーまたはコースディレクターの直接監督下でなければならない。

8.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
 - b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDIメディカル・ステートメント・フォーム。

コース修了後、インストラクターは次の項目を実施すること：

1. SDIダイバーリーダー登録用紙をSDI本部に提出するか、SDIウェブサイトのメンバーエリアからオンラインで生徒を登録することにより、適切なSDI認定証を発行する。

8.8 トレーニング教材

各候補者は、トレーニング中およびトレーニング後に使用する必要な資料一式を持たなければならない。

候補者に必要な資料

1. SDI標準および手順マニュアル。
2. SDIオープン・ウォーター・スクーバ・ダイバー・インストラクター・マニュアルまたはeラーニング。

必要な資料 - CDまたはIT：

1. SDIインストラクタートレーナーマニュアル。
2. IT評価スレート。

オプション教材 - CDまたはIT：

1. IDC/IEC コース追跡シート。

8.9 必須器材

本マニュアルのセクション3に記載されたオープンウォータースクーバ器材

8.10 学科アウトライン

SDIは以下のサポート資料を提供しています：

1. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターガイド。
2. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーマニュアル
3. SDIオープンウォータースクーバダイバービデオ。
4. SDI学生登録フォーム
5. SDIインストラクター評価フォーム
6. SDIインストラクター筆記試験、または同等のオンライン試験。
7. SDIダイブリーダーのトレーニング記録。
8. SDIコンファインドウォーター/オープンウォーター・ティーチングスレート。
9. SDIスチューデント・スキル・チェックオフ・スレート

コースディレクターまたはインストラクター・トレーナーは、これらのトピックの提示に役立つと思われるテキストや資料を追加で使用することができます。下記のトピックをカバーしなければならない：

1. SDIの基準と手順。
2. SDIの歴史。
3. 製品と手続き：
 - a. ウェブサイトの概要
 - b. ご注文方法
 - c. 登録手続き。
 - d. メンバーリニューアル
4. 賠償責任と保険：
 - a. リスクマネジメント
 - b. 免責同意書
 - c. スレート、フォルダとその他の書類
5. 事故報告書の記入
6. 指導方法：
 - a. 教授理論、教授法、口頭コミュニケーション
 - b. レッソンの準備：

- i. 教室で
 - ii. 閉ざされた水の中。
 - iii. オープンウォーターで
 - c. トレーニング補助具の使用。
 - d. アシスタントを使う。
 - e. SDIホームスタディプログラム、ナレッジクエストの使用。
 - f. eラーニングとブレンデッド・ラーニングの利用。
7. スキューバの販売を成功させる
- a. 予算管理コース。
 - b. 学生を募集している。
 - c. コースの編成とスケジューリング
 - d. 小売販売。
8. インストラクターの倫理
9. ダイビングの物理学と生理学。

8.11 スキル達成条件と修了条件

講習生は、以下のスキルを正しく実行できなければならない：

IDCのために必要なスキルパフォーマンス、学生はしななければならない：

1. 合格点以上を提示すること：
 - a. 4回のクラスルームプレゼンテーションを行い、少なくとも物理学と生理学に関するプレゼンテーションを1回ずつ行う。
 - b. 限定水域での4つのレッスン。
 - c. オープンウォーターで4レッスン。
2. ショーの準備、計画、コントロール
 - a. 潜水管理。
 - b. ダイビング活動。
3. デモンストレーションのクオリティで、完全なレスキューシナリオを1つ行う。
4. 水泳補助具を使わずに、10分間のサバイバル・フロートを行う。

5. 水面を400メートル泳ぎ、泳ぎ方を問わず、水泳補助具を使用せず、10分以内にノンストップで泳ぐ。
6. マスク、シュノーケル、フィンを使い、腕を使わずにノンストップで800メートルを17分以内に泳ぐ。
7. 意識不明を装ったダイバーを水深6メートル以上から浮上させ、水面で100メートルを4分以内に泳がせる。

プール/限定水域：

1. 受験者は、SDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースに記載されている全てのスキルを、デモンストレーションレベルのクオリティで、中性浮力の状態で行わなければならない。
2. プール/閉鎖水域の問題解決。

オープンウォーター

1. オープンウォーターでは、SDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースに記載されている全てのスキルを、デモンストレーションレベルのクオリティで、中性浮力の状態で行わなければならない。
2. オープンウォーターでの問題解決。

IECのために必要なスキルパフォーマンス、学生はしなければならない：

1. 最低限提示すること：
 - a. 教室でのプレゼンテーション1回、最短15分。
 - b. 限定水域でのフルレッスン1回。
 - c. オープンウォーターでのフルレッスン1回。
2. 評価インストラクター/トレーナーは、必要なすべての科目がカバーされ、スキルが実行されたことを確認する必要があります

このコースを修了するためには、以下のすべてに合格する必要がある：

1. SDIインストラクターの筆記試験または同等のオンライン試験を十分に修了していること。
2. すべての給水条件を満たすこと。
3. クラスの計画と実行に関して、成熟した健全な判断力を発揮する。

9. エリート・スクーバ・インストラクター

9.1 イントロダクション

SDIエリートスクーバインストラクターは、SDIオープンウォーターインストラクターとして認定されます。SDIエリートスクーバインストラクターは、SDIオープンウォーターインストラクターとして7つ以上のSDIスペシャルティインストラクターランクを保持し、50人以上のSDIダイバー（または同等のダイバー）を認定し、4人以上のSDIダイブマスターまたはアシスタントインストラクター（または同等のインストラクター）を認定している必要があります。

9.2 指導できるインストラクター

これは認定格付けであるため、SDIオープンウォーターインストラクターは、SDIスペシャリティアップグレードフォームを使用し、証明書類を提出することで、直接アップグレードを申請することができます。

9.3 修了条件

1. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーインストラクター資格取得。
2. 最低7つの専門分野を教える資格を有する。ダイビング以外の特技は3つまでとする。
SDIまたはファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの格付けのみが、この格付けに必要な7つの格付けとして認められる。
3. 最低50名のSDIダイバー、または同等のダイバーを認定していること。
4. 最低4名のSDIダイブマスターまたはアシスタントインストラクター、または同等の資格を取得していること。

10. コースディレクターコース

10.1 イントロダクション

コースディレクターコースは、SDI インストラクター・トレーナー（IT）開発プログラムの最初のモジュールです。このプログラムでは、SDI インストラクター養成コース（IDC）を単独で実施できるようになるためのトレーニングを行います。さらに、コースディレクターは、SDI ノンダイビングスペシャリティインストラクターコース、SDI インストラクターとアシスタントインストラクターのスペシャリティレイティング、および管理プロフェッショナルクロスオーバーを実施する資格があります。プログラムが完了すると、インストラクター・トレーナーは次のことを行う必要があります。

10.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. SDI オープンウォータースクーバダイバーインストラクター（OWSDI）コースのIDC部分を実施する。
2. SDI ノンダイビングスペシャリティインストラクターコースを実施する。
3. SDI インストラクター、アシスタントインストラクター、ノンダイビングスペシャリティインストラクターに、インストラクター認定を受けたSDI スペシャリティを教える資格を与える。*
4. 事務的な専門職のクロスオーバーを実施する。
5. インストラクター・トレーナー・ワークショップに参加する。

*

一部のスペシャリティ・インストラクターの格付けは、ITステータスが付与される前に、最低受講者数を満たしていることが条件となる。

注：コースディレクターは、SDI オープンウォータースクーバダイバーインストラクターコースのIECパートを実施することはできません。

10.3 指導できるインストラクター

1. アクティブステータスのSDI インストラクター・トレーナー且つ以下を満たす者：
 - a. 過去2年以内に、SDI本部に任命されたインストラクター・トレーナー・エバリュエーター（ITE）が実施した完全なITWプログラムにスタッフとして参加した。IT評価を得るために参加した最初のプログラムは、この要件を満たしていない。
 - b. SDI本部トレーニング部に書面で申請し、承認されたこと。

- c. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターをIDCまたはIECレベルで10名以上認定。

10.4 講習生とインストラクターの人数比

アカデミックウォーター、限定水域、オープンウォーターの候補者とインストラクタートレーナーの最大比率は、SDI本部トレーニング部門から特別な許可がない限り、8対1です。

10.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢20歳
2. ログ付けされた200ダイブの証明を提出すること。
3. 最低2年間、SDI OWSDI、または同等の資格を持っており、過去12カ月以内に品質保証に関する苦情が確認されていないこと。
4. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの成人・小児緊急ケア・インストラクターとして活動する。
5. SDI (または同等)の様々なレベルの認定数が合計で150を超えている事推奨認定レベル内訳は以下の通り：
 6. 100オープンウォーター・スクーバ・ダイバー。
 7. 25 レスキュー・ダイバー
 8. 20 スペシャルティ・ダイバー
 9. 5 ダイブマスターまたはアシスタントインストラクター。
10. 候補者は、SDI/TDI/ERDIの標準および教材を使用して、SDI/TDI/ERDIの全コースを少なくとも5回実施または支援したことを証明する必要があります。
11. 現地の法律で許可されている場合は、CPR、応急手当、酸素供給者の証明書を提出すること。
12. スキューバダイビングのための健康診断に、医師免許を持つ医師の署名があること。

10.6 コース構成と時間

コース構成：

1. インストラクター・トレーナーは、参加候補者の数に応じてコースを構成することができます。

2. コースディレクターコースは、SDI本部に任命されたITEのみがITWと組み合わせて教えることができる。

コース時間：

1. コースディレクターコースの最低トレーニング時間数は100時間で、そのうち40時間はSDI本部認定のITの直接指導を受けなければなりません。

10.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える
4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
 - b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDIメディカル・ステートメント・フォーム。
5. 候補者のログダイブ数と教えた生徒数を確認する。
6. 過去12カ月以内に候補者の品質保証（QA）に問題がないことを確認する。
7. 実施するIT部門は、必要事項をすべて記入したSDIコースディレクター研修申請書に必要書類を添付してSDI本部に提出し、承認を得なければなりません。 トレーニング開始前

コース修了後、インストラクターは次の項目を実施すること：

1. 以下をSDIアメリカ本部に提出して、適切なSDI認定を発行しなければならない
 - a. Instructor Trainer Workshop/Course Director Program Evaluation Checklist&登録用紙。
 - b. インストラクター・トレーナー&コース・ディレクター コース前の試験。
 - c. コースディレクター 最終試験
 - d. 候補者によるアカデミック・プレゼンテーションの評価を5回受けること。
 - e. 候補者による2回の限定水域でのプレゼンテーション評価。
 - f. 候補者によるオープンウォーター・プレゼンテーションの評価を2回受けること。

10.8 トレーニング教材

コースディレクター候補に必要な資料

1. SDIの基準と手順。
2. SDIオープンウォータースクーバダイバーデジタルインストラクターリソース。
3. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーeラーニングコース。
4. ファースト・レスポンス・トレーニング 国際成人・小児緊急ケアeラーニングコース
5. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターeラーニングコース。
6. プロフェッショナル・ファーマリゼーション（クロスオーバー）eラーニングコース。
7. SDIコンファインドウォーターおよびオープンウォータースレート。
8. SDIスキルチェックリストスレート
9. インストラクターの評価表。
10. 講師の学術評価フォーム
11. インストラクター・トレーナーデジタル・インストラクター・リソース。

インストラクター・トレーナー向け：

1. インストラクター・トレーナーデジタル・インストラクター・リソース。
2. SDIの基準と手順。
3. SDIオープンウォータースクーバダイバーデジタルインストラクターリソース。
4. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーeラーニングコース。
5. SDIコンファインドウォーターおよびオープンウォータースレート。
6. SDIスキルチェックリストスレート
7. インストラクターの評価表。
8. 講師の学術評価フォーム
9. SDIコースディレクター筆記試験 - 本部トレーニング部を通じて受験可能。
10. Instructor Trainer Workshop/Course Director Program Evaluation Checklist& 登録用紙。
11. セクション8.11に記載されているコースディレクター事前学習パッケージ。

10.9 必須器材

本マニュアルのセクション3に記載されたオープンウォータースクーバ器材

10.10 学科アウトライン

実施するインストラクタートレーナーの判断により、他のSDIリーダーシップコースから取り上げるトピックに加え、現行のITマニュアルに詳述されている情報に沿って、以下のトピックをカバーすることが求められ、候補者の理解力と伝える能力を評価することが求められる：

1. はじめに／ワークショップの概要
2. 指導方法。
3. プロのCD/ITであること。
4. 倫理規定。
5. インストラクターのトレーニング。
6. SDI/TDI/ERDIインストラクター。
7. 製品とトレーニング教材。
8. ウェブサイトの概要
9. SDIインストラクターが指導できるコース
10. ダイブリーダーのリスク管理
11. スケジューリングオプション。
12. リーダーシップの処理。
13. レスキューダイバーの指導
14. DMとAIのコースを教える。
15. ダイビングのビジネス
16. 施設指定。
17. 紹介手続き。
18. 行政のクロスオーバーの実施。
19. 専門インストラクターの指導
20. ダイビングスペシャリティインストラクタープログラム。

10.11 スキル達成条件と修了条件

プレゼンテーションと評価のトピックはSDIのインストラクター育成プログラムから抜粋され、候補者はSDIのトレーニング教材を使用して以下のスキルを修了する必要があります：

学科：

1. コースディレクターコースプレコース(事前学習)パッケージを完了していること
 - a. 筆記試験
 - b. オンラインOWSDIコース。
 - c. オンライン・プロフェッショナル・ファミリゼーション（クロスオーバー）コース。
2. コースディレクターの品質で、少なくとも次のことを実施します。
 - a. ダイバーレベルのアカデミック・プレゼンテーション2回。 *
 - b. インストラクターレベルのアカデミック・プレゼンテーションを3回行う。 *
 - c. ダイバーレベルの限定水域でのプレゼンテーション2回。
 - d. ダイバーレベルのオープンウォーター・プレゼンテーション2回。
3. 少なくとも以下の評価をする：
 - a. ダイバーレベルのアカデミック・プレゼンテーション2回。 *
 - b. インストラクターレベルのアカデミック・プレゼンテーションを3回行う。 *
 - c. ダイバーレベルの限定水域でのプレゼンテーション2回。
 - d. ダイバーレベルのオープンウォーター・プレゼンテーション2回。
 - e. レスキューのデモンストレーションを1つ。
4. SDIコースディレクター筆記試験に80%以上の得点で合格し、実施するIT部門による100%の補修を受けること。
5. スタッフ1人分のSDI IDCの検証を示す。

プール／閉鎖水域

1. 水泳補助具を使わずに、10分間のサバイバル・フロートを行う。
2. 水面を400メートル泳ぎ、水泳補助具を使用せず、任意のストロークでノンストップで約12分。
3. マスク、シュノーケル、フィンを使い、腕を使わずにノンストップで800メートルを17分以内に泳ぐ。
4. 意識不明を装ったダイバーを水深6メートル以上から浮上させ、水面で100メートルを4分以内に泳がせる。
5. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースに記載されているスキルを、デモンストレーションのクオリティで行うこと。
6. プール／閉鎖水域の問題解決。

オープンウォーター：

1. デモンストレーションのクオリティで、完全なレスキューシナリオを1つ行う。
2. 受験者はSDIオープンウォーター・スクーバダイバーコースに記載されているスキルをデモンストレーションのクオリティで行わなければならない。
3. オープンウォーターでの問題解決。
4. 学生の指導や評価に関して、成熟した健全な判断力を発揮する。

*

実施するインストラクター・トレーナーが選択するアカデミック・プレゼンテーションのテーマには、以下のものが含まれるが、これらに限定されるものではない：

1. ダイバーレベル：
 - a. 器材
 - b. ダイビングの物理学
 - c. ダイビングに関する医学的問題。
 - d. ダイブプランニング、ダイビングテーブル、パーソナルダイブコンピューター、減圧理論。
 - e. ダイビング環境。
 - f. 緊急手順、事故管理、ダイバー・アシスタンス。
 - g. 安全なダイビングのための推奨事項。
 - h. コミュニケーション
 - i. ボートダイビング。
2. インストラクターレベル：
 - a. ダイビング産業の概要。
 - b. エントリーレベルと継続教育コース。
 - c. アカデミックで水中でのレッスンプランニングとスキル指導。
 - d. ダイブプランニング、ダイビングテーブル、パーソナルダイブコンピューター、減圧理論。
 - e. 基準と手順および品質保証の主題は、SDIの教材で扱われているトピックから割り当てられ、SDIのリソースを使用して提示される。

11. SDIインストラクタートレーナー

11.1 イントロダクション

ITW(インストラクタートレーナーワークショップ)は、エバリュエーターとしてSDI IEC(インストラクターエバリュエーションコース)を単独で開催できるよう候補生をトレーニングする。各コースのITランクを取得するには、該当するコースのアクティブステータスインストラクターであり、且つこのアウトラインに詳述されているように、最低認定数を満たしていなければならない。

11.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. SDIインストラクター評価コース（IEC）を独自に実施する。
2. 全認定レベルのインストラクターレベルのコースを指導し、評価する。
3. スタッフ・インストラクター・トレーナー・ワークショップ
4. SDIプロフェSSIONALのための管理的クロスオーバープログラムおよびクロスオーバー評価を実施する。
5. SDIコースディレクタープログラムを実施する（前提条件が満たされている場合）。

11.3 指導できるインストラクター

1. このワークショップは、SDI世界本部によって承認されたインストラクタートレーナーエバリュエーター(ITE)のみが教えることができます。

11.4 講習生とインストラクターの人数比

候補者とITEの比率は、主題に関する包括的かつ完全な研修を確実に行うために十分な施設、備品、時間が提供される限り、無制限である。

11.5 講習生参加前条件

1. 最低年齢20歳
2. 300本のログダイブの証明を提出すること。

3. 最低2年間、SDI OWSDI、または同等の資格を持っており、過去12カ月以内に品質保証に関する苦情が確認されていないこと。
4. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナルの成人・小児緊急ケア・インストラクターとして活動する。
5. SDI (または同等)の様々なレベルの認定数が合計で200を超えている事推奨認定レベル内訳は以下の通り：
 6. 150 オープンウォーター・スクーバ・ダイバー。
 7. 20 レスキュー・ダイバー
 8. 25 スペシャルティ・ダイバー
 9. 5 ダイブマスターまたはアシスタントインストラクター。
10. 候補者は、SDI/TDI/ERDIの標準および教材を使用して、SDI/TDI/ERDIの全コースを少なくとも5回実施または支援したことを証明する必要があります。
11. 現地の法律で許可されている場合は、CPR、応急手当、酸素供給者の証明書を提出すること。
12. スキューバダイビングのための健康診断に、医師免許を持つ医師の署名があること。

11.6 コース構成と時間

コース構成：

1. インストラクター・トレーナーは、参加候補者の数に応じてコースを構成することができます。
2. インストラクター・トレーナー・プログラムは、SDI本部の任命されたスタッフがコースディレクター・コースと併せて教えることができる。

コース時間：

1. インストラクター・トレーナー候補者は、SDI本部認定のITEの指示および監督のもとで100時間を修了しなければなりません。

11.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. 全ての講習生からコース費用を徴収する
2. 講習生が必須器材を所有していることを確認する
3. 講習生にスケジュールを伝える

4. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：

- a. SDI一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
- b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDIメディカル・ステートメント・フォーム。

プログラム終了後、インストラクター・トレーナー評価者は以下のことを行う必要があります：

1. 以下をSDIアメリカ本部に提出して、適切なSDI認定を発行しなければならない
 - a. Instructor Trainer Workshop/Course Director Program Evaluation Checklist&登録用紙。
 - b. インストラクター・トレーナーとコースディレクター・プレコースエグザム
 - c. インストラクター・トレーナーファイナルエグザム(最終試験)
 - d. 候補者による3回のアカデミック・プレゼンテーション評価
 - e. 候補生による限定水域プレゼンテーション2回分の評価
 - f. 候補生によるオープンウォータープレゼンテーション2回分の評価

11.8 トレーニング教材

SDIコースディレクターコース標準のトレーニング教材セクションに記載されているすべての項目に加え、以下の教材が必要です：

IT候補者に必要な資料

1. 必要に応じてSDIトレーニング資料を提供する。

インストラクター・トレーナー評価者向け：

1. インストラクター・トレーナー・エバリュエーター・インストラクター・ガイド。
2. 必要に応じてSDIトレーニング資料を提供する。
3. ITW筆記試験。

11.9 学科アウトライン

コース・ディレクター・コースの全必修科目の復習に加え、インストラクター・トレーナー・プログラムでは、以下の科目をカバーする必要があります：

1. IEC - 評価プロセス。
2. SDIコースディレクターコースの指導。
3. TDIインストラクター・トレーニング
4. ERDIインストラクター・トレーニング。

5. ファースト・レスポンス・インストラクター・トレーニング
6. PFIインストラクター・トレーニング
7. クロスオーバー／メンバーアップデートの実施。

11.10 スキル達成条件と修了条件

候補者は、SDIトレーニング教材（該当する場合）を使用して、以下を完了する必要があります：

1. 最低3つのクラスでのプレゼンテーションを評価する。
2. ITWの筆記試験に80%以上の得点で合格すること。
3. スタッフ1人分のSDI IDCの検証を示す。

注：上記の項目に加え、すべてのIT資格取得者は、コースディレクターが求めるスキルパフォーマンスと卒業要件に記載されているすべての項目を完了しなければならない。

11.11 すべてのインストラクター・トレーナーのためのポリシー

1. インストラクター・トレーナーは、SDI世界本部および居住国のSDI地域事務局に登録する必要があります。
2. インストラクター・トレーナー・プログラムを修了したインストラクター・トレーナーは、インストラクター・コースを積極的に教え続けていれば、他のインストラクター・トレーナー・プログラムに参加することなく、他のITレベルにアップグレードすることができます。
3. 一部のSDIコースでは、インストラクターが該当コースのITステータスを取得する前に、そのレベルで定められた最少講習生認定数が必要です。最少認定数は以下の通りです：

SDIレベル	学生
スクビリティ	10
ソロ	10
VIP	10

12. コースディレクターとインストラクター・トレーナーのクロスオーバー

12.1 イントロダクション

SDI

コースディレクターとインストラクター・トレーナー・クロスオーバーワークショップは、他の国際的な教育機関で同等の資格を取得した候補生にインターナショナルトレーニングの教育哲学を指導し、SDIコースディレクターやインストラクター・トレーナーとして認定するコースである。このコースは、インターナショナル・トレーニングの基準、教材、サービス、哲学を、潜在的なクロスオーバー候補者に評価し、理解してもらうことを目的としています。インストラクターの育成方法の基本原則を教えるものではありません。

12.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了したコースディレクターは、以下のことができる：

1. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクター（OWSDI）コースのIDC部分を実施する。
2. SDIノンダイビングスペシャルティインストラクターコースを実施する。
3. SDIインストラクター、アシスタントインストラクター、ノンダイビングスペシャルティインストラクターに、インストラクター認定を受けたSDIスペシャリティを教える資格を与える。*
4. 事務的な専門職のクロスオーバーを実施する。
5. インストラクター・トレーナー・ワークショップ（ITW）に参加する。

注：コースディレクターは、SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターコースのIEC部分を開催できません。

このコースを修了したインストラクター・トレーナーは、以下のことができる：

1. コースディレクターの資格取得をすべて実施する。
2. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターコースのIEC部分を単独で実施する。
3. 全認定レベルのインストラクターレベルのコースを指導し、評価する。
4. スタッフ・インストラクター・トレーナー・ワークショップ

5. SDIプロフェSSIONALのための管理的クロスオーバープログラムおよびクロスオーバー評価を実施する。
6. SDIコースディレクタープログラムを実施する（前提条件が満たされている場合）。

*

特定の専門講師の格付けは、ITステータスが付与される前に、最低学生数を満たすことが条件となる。

12.3 指導できるインストラクター

1. コースディレクターのクロスオーバーSDI本部トレーニング部門によって承認されたSDIコースディレクターIT。
2. ITクロスオーバーSDI本部トレーニング部が承認した現役のインストラクタートレーナー評価者。

12.4 講習生とインストラクターの人数比

包括的で完全な研修を行うために十分な施設、備品、時間が提供される限り、候補者とIT部門の比率は無制限である。

12.5 講習生参加前条件

1. すべての応募者は、SDI本部トレーニング部の承認を受ける必要があります。クロスオーバーの資格は、クロスオーバー元の機関によって決定される。
2. 過去12ヶ月間、品質保証に問題がなく、公認スクーバ・トレーニング機関のアクティブ・インストラクター・トレーナーまたはコース・ディレクター相当*。
3. 現地の法律で許可されている場合は、CPR、応急手当、酸素供給者の証明書を提出すること。
4. スクーバ・ダイビングのための医師免許を持つ医師の署名入り健康診断書を提出すること。
5. SDI
(または同等)の様々なレベルの資格認定数が合計で35を超えている事推奨認定レベル内訳は以下の通り：
 - a. 25 オープンウォーター・スクーバ・ダイバー。
 - b. 5 レスキュー・ダイバー。
 - c. 5 スペシャルティ・ダイバー。

*同等の格付けが決定され、SDI本部トレーニング部の承認を得なければならない。

12.6 コース構成と時間

コース構成：

1. コース・ディレクターITおよびインストラクター・トレーナー評価者は、参加候補者の数に応じてコースを構成することができる。

コース時間：

1. コースディレクターまたはインストラクタートレーナー候補生は、最低2日半以上の時間をかけて、SDI
本部が承認したCDTまたはインストラクタートレーナーエバリュエーターの指示と監督の下で最低25時間を完了する必要があります。今回は4対1の比率に設定されている。候補生やクロスオーバーコースのレベルによって必須時間は異なります

12.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. SDIインストラクタートレーナー／コースディレクター申請書に必要事項をすべて記入し、トレーニング開始前にSDI本部トレーニング部門に提出し、承認を得ること。
2. 受講料はコース開始の2週間前までに全額お支払いください。
3. 候補者は、限定水域／プール・トレーニングおよびオープン・ウォーターに適切な装備を持っていなければならない。
4. 日程とコース内容を受験者に伝える。
5. 講習生に以下を完了させる：
 - a. SDI責任免除および危険負担の表明フォームにご記入ください。
 - b. 医師免許を持つ医師の署名が入ったSDI Medical Statement Formを提出してください。
6. 候補者の同等の資格を確認する。
7. 候補生がオンラインコースを修了していることを確認する(候補生の言語で受講可能な場合)
 - a. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターeラーニングコース。
 - b. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーeラーニングコース。
 - c. プロフェッショナル・ファーマナリゼーション（クロスオーバー）eラーニングコース。

プログラム終了後、コースディレクターITまたはインストラクタートレーナー評価者は、以下のことを行わなければならない：

1. 以下をSDIアメリカ本部に提出して、適切なSDI認定を発行しなければならない

- a. Instructor Trainer Workshop/Course Director Program Evaluation Checklist&登録用紙。
- b. インストラクター・トレーナー& コース・ディレクター コース前の試験。
- c. コースディレクターまたはインストラクター・トレーナー 最終試験。
- d. 候補者によるアカデミック・プレゼンテーションの評価1件。
- e. 候補者による限定水域でのプレゼンテーション評価1回。

12.8 トレーニング教材

クロスオーバー候補に必要な資料：

1. 国際トレーニング基準と手順。
2. SDIオープンウォータースクーバダイバーデジタルインストラクターリソース。
3. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーeラーニングコース。
4. SDIオープンウォータースクーバダイバーインストラクターeラーニングコース。
5. プロフェッショナル・ファーマナリゼーション（クロスオーバー）eラーニングコース。
6. SDIコンファインドウォーターおよびオープンウォータースレート。
7. SDIスキルチェックリストスレート
8. インストラクターの評価表。
9. 講師の学術評価フォーム
10. インストラクター・トレーナーデジタル・インストラクター・リソース。

コース・ディレクターITまたはインストラクター・トレーナー評価者向け：

1. インストラクター・トレーナーデジタル・インストラクター・リソース。
2. 国際トレーニング基準と手順。
3. SDIオープンウォータースクーバダイバーデジタルインストラクターリソース。
4. SDIオープンウォーター・スクーバダイバーeラーニングコース。
5. SDIコンファインドウォーターおよびオープンウォータースレート。
6. SDIスキルチェックリストスレート
7. インストラクターの評価表。
8. 講師の学術評価フォーム

9. SDIコースディレクターまたはITW筆記試験-本部トレーニング部を通じて入手可能。
10. Instructor Trainer Workshop/Course Director Program Evaluation Checklist& 登録用紙。
11. セクション10.11に記載されているコースディレクター/インストラクタートレーナー事前学習パッケージ。

12.9 学科アウトライン

実施するコースディレクター IT またはインストラクタートレーナー評価者の判断により、他の SDI リーダーシップコースから取り上げたトピックに加え、現行の IT マニュアルに詳述されている情報に沿った以下のトピックを取り上げ、候補者の理解度および伝達能力を評価することが求められる：

1. イントロダクション/ワークショップの概要
2. 指導方法。
3. プロのCD/ITであること。
4. 倫理規定。
5. インストラクターのトレーニング。
6. SDI/TDI/ERDIインストラクター。
7. 製品とトレーニング教材。
8. ウェブサイトの概要
9. SDIインストラクターが指導できるコース
10. ダイブリーダーのリスク管理
11. スケジューリングオプション。
12. リーダーシップの処理。
13. レスキューダイバーの指導
14. DMとAIのコースを教える。
15. ダイビングのビジネス
16. 施設指定。
17. 紹介手続き。
18. 行政のクロスオーバーの実施。
19. 専門インストラクターの指導
20. ノンダイビング・スペシャルティ・インストラクター・プログラム。

インストラクター・トレーナー候補者は、上記のトピックに加え、以下のトピックもカバーしなければならない：

1. IEC - 評価プロセス。
2. SDIコースディレクターコースの指導。
3. TDIインストラクター・トレーニング
4. ERDIインストラクター・トレーニング。
5. ファースト・レスポンス・インストラクター・トレーニング
6. PFIインストラクター・トレーニング
7. クロスオーバー／メンバー・アップデートの実施。

12.10 スキル達成条件と修了条件

プレゼンテーションと評価のトピックはSDIのインストラクター育成プログラムから抜粋され、候補者はSDIのトレーニング教材を使用して以下のスキルを修了する必要があります：

1. プール／コンファインド・オープン・ウォーター・セッション
2. 泳力評価：
 - a. 水泳補助具を使わずに、10分間のサバイバル・フロートを行う。
 - b. 水面を400メートル泳ぎ、水泳補助具を使用せず、任意のストロークでノンストップで約12分。
 - c. マスク、シュノーケル、フィンを使い、腕を使わずにノンストップで800メートルを17分以内に泳ぐ。
3. レスキューシナリオ：
 - a. デモンストレーションのクオリティで、完全なレスキューシナリオを1つ行う。
4. スキル評価：最低5分間、中性浮力を維持する
5. 推奨されるスキル
 - a. マスクの脱着。
 - b. レギュレーターの回復。
 - c. 中性浮力。
 - d. 代替空気源の上昇。
 - e. コントロールされたスイム上昇。

SDIスタンダード&プロシージャー
パート4：リーダーシップスタンダード

6. IT Candidate Confined Water #1 インストラクターレベルのプレゼンテーションの評価。
7. クラスサイズに余裕があれば、候補生はお互いのプレゼンテーションを評価しあう。そうでない場合は、ITEがプレゼンテーションを行い、候補者に評価してもらう。
8. コースディレクター/インストラクタートレーナー
プレコース(事前学習)パッケージを完了していること
 - a. a.筆記試験
 - b. オンラインOWSDIコース。
 - c. c.オンライン・プロフェッショナル・ファミリゼーション（クロスオーバー）コース。
9. 少なくとも以下の評価をする：
 - a. アカデミックなプレゼンテーション1回。
 - b. 限定水域でのプレゼンテーション1回。
10. コースディレクターまたはインストラクタートレーナーの筆記試験に80%以上のスコアで合格し、担当コースディレクタートレーナーまたはインストラクタートレーナーエバリュエーターの解説により100%の理解が必要です。

13. International Training®クロスオーバーコース

13.1 イントロダクション

このコースは、International Training®のプロフェッショナルランク認定 - SDI、TDI、ERDI、PFI、First Response Training International - にクロスオーバーしようとする他教育機関のプロフェッショナルが、International Training®と共に活動するために必要なスキルと知識を習得することを目的としている。このプログラムは、行政が実施するプロフェッショナル・クロスオーバー・プログラムに最低限必要なものを網羅している。ある特定のコースやエージェンシー、または地域によっては、クロスオーバープログラムの一環として、実技評価が必須条件となる場合もある。実技審査が必要かどうかについては、トレーニング部門にお問い合わせください。

13.2 修了者に与えられる資格

このコースを修了すると、修了者は次のことができる：

1. 該当するランクやプログラムのトレーニングコースを開催し、認定することができる

13.3 指導できるインストラクター

1. 現役のインストラクター・トレーナーまたはコース・ディレクター。
2. 国際研修承認機関の代表者。
3. 世界本部トレーニング部。

13.4 講習生とインストラクターの人数比

学科：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

限定水域(コンファインドウォーター、プールに似た環境)：

1. 講習を行うために必要な施設等が整っており、かつ、時間を十分に確保できる場合は、講習生数に制限はない。

オープンウォーター(海、湖、採石場跡、泉、川、河口など)：

1. オープンウォーターの評価が必要な場合、適切な評価が提供できる限り、無制限。

13.5 講習生参加前条件

1. International Training®承認の他教育機関プロフェッショナル資格を有すること。International Training®承認の他教育機関やコースのリストが必要な場合はトレーニング部門まで問い合わせること。第1部7.12節「ダイブリーダーのクロスオーバーの要件」を参照のこと。
2. 品質保証(QA)の調査を現在受けていない、または過去にティーチングステータスやメンバーシップをなく奪されたことがない。品質保証に関する事項は、本部の研修部に提出し、検討することができる。

13.6 コース構成と時間

水中での実施。このコースが必要な場合、インストラクターの判断により、限定水域、オープンウォーター、またはその両方で、要求される技能のパフォーマンスに応じて実施しなければならない：

1. 水中評価が必須条件のクロスオーバープログラムの場合、該当するコースの評価条件に従うこと。これらは通常、対応するインストラクター・スタンダードの技能パフォーマンスと卒業要件のセクションに記載されている。評価は、該当するレベルのITステータスを保持するアクティブステータスのインストラクター・トレーナーのみ実施可能

コース構成：

1. インターナショナル・トレーニングでは、インストラクターは参加する生徒の人数やスキルレベルに応じてコースを構成することができます。

コース時間

1. 必要な時間数は、受験者数とクロスオーバーするレベルによって異なる。

13.7 事務手続き

事務手続き項目：

1. すべての候補者から交際費を徴収する。
2. 生徒が必要な教材を持っていることを確認する。
3. 候補者がオンライン慣熟コースを受講し、修了していることを確認する（その言語で受講可能な場合）。
4. 講習生にスケジュールを伝える
5. 講習生に以下の書類の必要事項を記入させる：
 - a. 適用クロスオーバー・アプリケーション。
 - b. 水中での評価が必要なコースでは、免除と同意書を提出すること。

- c. 水中評価が必要なコースの場合は、医師免許を持つ医師の署名入りのメディカル・リリース
。

コース修了後、指導者は提出しなければならない：

1. クロスオーバー・アプリケーション
2. クロスオーバー・チェックリスト
3. 代理店のウェブサイトから資格証明書をプリントアウトしたもの（望ましい）、または専門資格証明書のコピー。
4. 該当する場合は、専門職業賠償責任保険の検証。
5. オンライン慣熟化コースを完了したプリントアウト。
6. ITの評価が必要なレベルについては、評価するITがインストラクター登録用紙に署名する。

13.8 必須器材

水中での評価が必要な場合のレベルクロスオーバーに適した機材。必須教材は以下の通り：

1. オンライン・プロフェッショナル慣熟コースのコード（言語/地域で利用可能な場合）。
2. 適切なダイブマスター、アシスタントインストラクター、またはインストラクターの教材。
3. クロスオーバー・チェックリスト
4. 適切なクロスオーバーの適用。

利用可能な推奨教材：

1. クロスオーバー／慣れのパワーポイント。

13.9 学科アウトライン

下記のトピックをコース中にカバーしなければならない：

1. 管理要件とクロスオーバー・パッケージ。
2. 国際トレーニングの歴史：
 - a. TDI。
 - b. SDI。
 - c. ERDI。
 - d. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル
 - e. PFI。
3. グローバル代表：

- a. 地域オフィス
- b. ローカル・セールス・マネージャー
4. テクニカル・ダイビング・インターナショナル
 - a. 基準と手順。
5. スキューバダイビング・インターナショナル
 - a. 基準と手順。
6. エマージェンシー・レスポンス・ダイビング・インターナショナル
 - a. 基準と手順。
7. ファースト・レスポンス・トレーニング・インターナショナル
 - a. 基準と手順。
8. パフォーマンス・フリーダイビング・インターナショナル
 - a. 基準と手順。
9. リスク管理：
 - a. 権利放棄と免責。
 - b. 医学的要件。
 - c. 保険の必要条件
10. 国際トレーニングによるマーケティング：
 - a. マーケティング・リソース
 - b. コンテンツ開発。
11. インターナショナル・トレーニングのサービスと特典
 - a. ウェブサイトのツール：
 - i. スタンダードへのアクセス
 - ii. プロフェッショナルレベルの資格とアップグレードの登録。
 - iii. ダイバーの登録
 - iv. 会員資格の更新
 - v. インストラクターのリソース
 - b. 生徒用教材の購入
 - c. 教材。
12. 国際トレーニングの誓い

13.10 スキル達成条件と修了条件

特定の認定資格については、受験者は水中でのスキルやその他のパフォーマンス要件を満たす必要がある。これらは、「技能パフォーマンスと卒業要件」のセクションにあるインストラクターのコース基準に記載されている。

クロスオーバーを完了させるために、候補者は次のことをしなければならない：

1. 慎重かつ的確な判断力があること、そしてInternational Training®との活動について十分に理解していることを示す
2. ワールド本部トレーニング部がすべての書類を確認し、候補者が会員番号と資格証明を受け取るまでは、クロスオーバーは完了しません。